

高知県就職支援相談センター事業 及び令和4年度就職氷河期世代サポート事業の概要

1. 目的

高知県就職支援相談センター（以下、「ジョブ」という。）は、若年者の能力向上や就職支援を目的に、職場体験や就業に関連したサービスを提供するワンストップサービスセンターとして平成16（2004）年に設置された。

県内企業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、景気の先行きを不安視して人材採用を手控える行動が見られるものの、依然として、人材不足感は続いている状況にある。また、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った、いわゆる就職氷河期世代には、希望する就職ができず、現在も不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にある、社会参加に向けた支援を必要としているなど、様々な課題に直面している方がいる。

こうした課題を社会全体で受けとめ、当該世代の方の活躍支援に向けた取組を進めるため、令和元年6月に「経済財政運営と改革の基本方針2019」において、「就職氷河期世代支援プログラム」が取りまとめられ、このプログラムに基づく具体的な取組内容が「就職氷河期世代に関する行動計画2019」として示され、令和4年度までの3年間で当該世代の支援に集中的に取り組むこととされている。

ジョブカフェにおいても、就職氷河期世代の方々が希望に応じて意欲や能力を生かし活躍できるよう、令和2年度以降、当該世代の方の実情を踏まえ、支援対象者の掘り起こし・窓口誘導にはじまり、相談から就職、そして職場定着まで切れ目のない支援を実施してきた。このように、昨今の労働市場を取り巻く環境の変化の中で、ジョブカフェには、若年層から就職氷河期世代までの就職支援対象者の特性に応じた対応が求められるようになってきている。

このため、ジョブカフェにおいては、これまでの取組以上に、きめ細かな相談体制のもと、求職者等のアンマッチ（企業側が求める条件に合わないこと）やミスマッチ（企業側と就職者のニーズのギャップのこと）のない円滑な就職と、定着に向けた支援を行うことにより、県内企業における人材の確保・育成・定着を図ることとする。

2. 支援対象者

15歳から就職氷河期世代までの者のうち、就業意欲のある者。生徒（中学生・高校生）及び学生（短大生・大学生・大学院生等）を含む。

※若年層とは、15歳から就職氷河期世代未満の世代を指す。

※就職氷河期世代とは、概ね1993年（平成5年）から2004年（平成16年）の雇用環境が厳しい時期に学校卒業期を迎えた世代を指す（2022年4月1日時点において大卒で概ね40歳から51歳、高卒で概ね36歳から47歳に相当）。

3. 拠点施設及び開所日

① 拠点施設

ア 本部

高知市帯屋町2丁目1-35 片岡ビル1F・2F

※同3Fにハローワーク高知若者相談センターを併設

イ サテライト（幡多）

四万十市右山五月町8-13 アピアさつき1F

② 開所日・閉所日及び開所時間

	開所日・開所時間	閉所日
本部	月曜日～土曜日（注1） 10時00分～18時00分 （金曜日のみ 10時00分～20時00分） （注1）第2及び第4土曜日	第1・第3・第5土曜日、日曜日（注2） 国民の祝日、振替休日及び国民の休日（注2） 年末年始（12月29日～翌年1月3日） （注2）オンライン相談（予約制）のみ実施
サテライト （幡多）	月曜日、水曜日、金曜日 13時00分～17時00分	日曜日、火曜日、木曜日、土曜日 国民の祝日、振替休日及び国民の休日 年末年始（12月29日～翌年1月3日）

4. 取組内容

① 就職相談

- ・求職者（相談者）本人の現状や適性などを踏まえた就職支援計画書の策定などを通して、今後の支援方針の見立てを行うとともに、担当キャリアコンサルタントを選定し、継続的な就職支援を実施する（担当制のカウンセリング実施）。
- ・個別の求職者（相談者）の現状を把握しながら、相談内容に応じて、自己理解の支援（職業適性診断も含む）、就職意識の向上、労働市場の情報提供、キャリアの再構築などを通して求職者（相談者）の課題や悩みについてアドバイスを行う。
- ・求職者（相談者）の必要に応じ、就職活動に役立つような履歴書・エントリーシート の書き方や採用面接の指導、キャリア形成支援及び職場定着支援に係る支援メニューの提示・誘導を行う。
- ・オンラインによる相談も実施。

② キャリア形成支援

ア 出張相談会

- ・ハローワーク高知等、求職者が集まる場所へ出向き、必要に応じて職業適性診断などを活用するなどの出張相談会を開催する。イオンモールや蔦屋書店など、人が集まる場所に出向き、掘り起こしを兼ねた出張相談会も開催する。

イ 少人数セミナー

- ・自己理解やステップアップ、スキルアップ等、求職者の課題に対応したセミナーや、求職者の課題・ニーズに合わせたセミナー等を実施する。
- ・キャリアコンサルタントは、個別カウンセリングを受けた求職者（相談者）の見立てを行い、少人数セミナーの受講を積極的に促す。

ウ 職場体験講習

- ・就職へのステップアップ、あるいは雇用のミスマッチを解消するため、企業の職場内での講習を実施する。

- ・本講習の実施にあたって、県下全域で受入企業の開拓やコーディネート業務等を行う。
- ・キャリアコンサルタントは、職場体験講習の目的に合致する求職者に対し、職場体験講習の受講を積極的に促す。

エ グループワーク

- ・自己理解の促進や自己肯定感の醸成、自尊心の形成など求職者の課題に対応したグループワークを実施する。
- ・キャリアコンサルタントは、個別カウンセリングを受けた求職者（相談者）の見立てを行い、グループワークの受講を積極的に促す。

オ ジョブチャレンジ

- ・継続的な就業ができていない求職者が適性に合った職場を見つけることができるよう、小さな達成感の積み重ねとなる仕事体験を実施する。
- ・キャリアコンサルタントは、グループワークを受講した者の見立てを行い、ジョブチャレンジの目的に合致する求職者に対し、ジョブチャレンジの受講を積極的に促す。

③ キャリア教育

ア 学校出前講座

- ・県内の中学校、高等学校又は大学・短大に出張し、キャリア教育や就職活動などに必要な就職支援を行う。

イ ジョブキッズ

- ・小学生の好奇心や興味を大事にしつつ、自分の未来を肯定的に感じ、早期に様々な職業を知るきっかけづくりとするため、自己分析・仕事研究ワークを開催する。

④ 就職氷河期世代チャレンジ応援団の結成・運営

就職氷河期世代の雇用・育成に理解のある県内企業を開拓し、企業ネットワークを形成するとともに、複数の事業所（応援団参加企業）でのジョブチャレンジや講話・座談会による交流会を通じて、当該世代の求職者の自己理解や仕事理解を促進し、就職につなげる。

ア 講話

- ・県内中小企業の経営者が講師となり、求職者の仕事理解や組織理解を促進する場となる講話を実施する。

イ 座談会

- ・求職者の仕事理解や組織理解を促進し、求職者及び企業の双方が交流できる場となる座談会を実施する。

ウ 出会いイベント

- ・求職者と「チャレンジ応援団」参加企業がお互いへの理解を深め、ジョブカフェの支援メニューの活用につなげていくためのイベントを実施する。

⑤ 職場定着支援

ア 高等学校卒業予定の就職内定者向けセミナー

- ・高等学校卒業予定の就職内定者を対象に、社会人としての基本姿勢やスキル等の習得に加え、交流を通じた「地域同期」づくりを目指したセミナーを開催する。

イ 新社会人向けセミナー

- ・新社会人（新入社員及び入社3年以内の社員）を対象に、コミュニケーション力や仕事力の向上、セルフマネジメント力等の習得に加え、異業種交流を通じた「地域同期」づくりによる離職防止を目指したセミナーを開催する。
- ・スキルアップや交流促進のための少人数制のセミナーやワークショップ等の交流セミナーを開催する。

ウ 県内中小企業者向けセミナー

- ・県内の中小企業の経営者やその職場の上司等を対象に、新入社員への接し方や人材育成の方法などの習得による離職防止等を目指したセミナーを、直接、企業に出向き、開催する。

エ 就職氷河期世代の新入社員向け・企業集合型セミナー

- ・就職氷河期世代の新入社員（入社後おおむね3年以内）あるいは当該世代を採用している又は採用する意向のある企業に対し、就職氷河期世代向けセミナーを行うことにより職場定着を図る。

⑥ 就職後のアフターフォロー

- ・本業務の利用者が、就職後も円滑に就労定着できるよう、きめ細やかで切れ目のない伴走型支援の相談体制をとる。
- ・追跡調査の結果等により本業務の利用者が既に離職している、あるいは離職しようとしていることが判明した場合には、ジョブへの来所を促し、状況に応じた就職支援を適切に行う。

⑦ 広報

顕在的な求職者に必要な情報を届けることに加え、潜在的な求職者の掘り起こしも図られるよう工夫した広報を行う。

- ・ホームページ
- ・広報誌（ジョブカフェマガジン）
- ・WEB広告
- ・新聞広告
- ・テレビCM
- ・メールマガジン
- ・リーフレット
- ・セミナーチラシ
- ・その他（T w i t t e r や F a c e b o o k などSNSの活用）

以上のような取り組みを、若年者を対象とした職業紹介を行う「ハローワーク高知若者相談コーナー」（併設）と連携し、就職相談から就職、そして職場定着まで切れ目のない一貫した支援サービスを提供するものとする。

また、若年者地域連携事業（高知労働局）との連携や、県内の就職支援機関等との連携、高知労働局や県、支援機関などで構成される「こうち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」とも連携を図るものとする。

5 本業務の数値目標

< 35歳以下の求職者 >

項目	内容	数値目標
就職者数	就職者数（就職支援計画書を作成した求職者のうち就職した者）	180人
	当該年度に就職支援計画書を作成した求職者のうち6か月以内の就職率	70.0%
職場体験講習	就職者数	31人
	就職率（就職者数/受講者実数）	70.0%
	就職者の就職後3か月時点の定着率	80.0%
ジョブチャレンジ	就職者数	3人
	就職率（就職者数/受講者実数）	30.0%

< 就職氷河期世代（36～51歳）の求職者 >

項目	内容	数値目標
就職者数	就職者数（就職支援計画書を作成した求職者のうち就職した者）	70人
	当該年度に就職支援計画書を作成した求職者のうち6か月以内の就職率	70.0%
職場体験講習	就職者数	24人
	就職率（就職者数/受講者実数）	70.0%
	就職者の就職後3か月時点の定着率	80.0%
ジョブチャレンジ	就職者数	6人
	就職率（就職者数/受講者実数）	30.0%
チャレンジ応援団	参加企業数（累計）	125社